

# よりよい菊川地域をめざして

～地域全体で子どもたちを育むために～

【周南市 菊川中学校区】

## 地域の概要

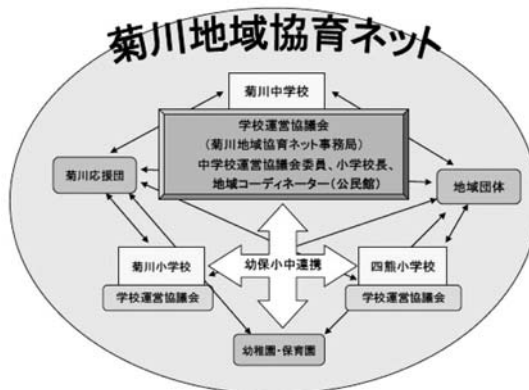
菊川中学校区は周南市の西寄り、富田川沿いに位置します。市街地に近い所ですが、山に囲まれた自然豊かな環境の中にあります。地域の方の学校に対する関心は高く、各校の教育活動にいろいろな面で協力していただいています。四熊小学校は今年度末をもって休校となり、菊川小学校に統合されます。

人 口	7,931 人	
世 帯 数	3,161 世帯	
対象校及び 児童生徒数	菊川中学校	201 人
	菊川小学校	466 人
	四熊小学校	5 人

## 組織の内容

菊川地区は、もともと学校間の連携や住民自治の組織がしっかり整備され、それぞれ熱心に活動していました。学校関係では、市立幼稚園・保育所も含めて連携しており、各校・園の管理職による「紫山会」、OBも含めたPTA役員による「菊風会」などがあります。また、自治会や老人クラブなどの団体と地域の方で組織する「住みよい菊川をつくる会」があります。（この会には、学校も賛同団体として加わっています。）

このような状況のため、新たな組織をつくるというより、既存の組織を「地域協育ネット」という視点で生かしていくという方針を進めることにしました。各小学校の校長を含む菊川中学校の学校運営協議会が「菊川地域協育ネット」の推進母体を兼ね、菊川中学校が事務局として連絡調整しています。今年度については、地域コーディネーターに、公民館主事を配置しています。



## 特色・重点的な取組

### 特 色

地域全体が一体となって活動する象徴的な場面として「菊川まつり」が挙げられます。これは、ステージ発表、文化作品の展示、バザーなどを行う地域のまつりで、各校・園も参加します。特に中学生は企画段階から運営に参画します。

### 重点的な取組

菊川中学校では、2年前に学校教育を支援していただくために「菊川中学校応援団」を募集しました。30人余りの個人と3つの団体が応援団員として登録されています。これを、中学校だけでなく、広く校区内の各校へも協力していただくことをめざして、名称を「菊川応援団」に変更しました。しかしながら、応援団員の中で、実際に支援して下さる方は一部に限られてしまうのが現状です。そこで、「菊川地域協育ネット」が「菊川応援団」の活躍の場を広げ、地域全体の教育支援となるように、各校へ「菊川応援団」と連携した取組の推進を呼びかけています。また、新たな試みとして、希望される応援団の方に学校の情報をメール配信し、いろいろな機会に教育活動に広く参加していただくようにしました。

また、既存の組織を「地域協育ネット」の視点で生かしていくためには、各校の学校運営協議会が共通理解のもとに連携していくことが不可欠と考え、合同研修会を開催しました。

## 主な活動の紹介

○「菊川地域協育ネット」が各学校運営協議会に調整を図り、各校とも地域と連携しながら活動しています。

### 菊川中学校

- ・中学生ボランティア（菊川まつりの運営、小学校の校舎清掃、川上ダムクリーン作戦など）
- ・保護者・地域の文化祭への協力（コミスクルームにおける販売用雑巾縫いなど）
- ・菊川応援団の活用（地域学習における外部講師、ツツジの剪定など）



地域学習（菊川中）



菊川まつり

### 菊川小学校

- ・読み聞かせボランティア
- ・公民館洋裁教室メンバーによる家庭科（裁縫）指導
- ・教職員全員参加の学校運営協議会



読み聞かせ（菊川小）



地域との合同運動会（四熊小）

### 四熊小学校

- ・地域との合同運動会（学校の運動会と地域の運動会を合同開催）
- ・ふれあいまつり（学校の学習発表会と地域の文化祭を合同開催）

○3校の学校運営協議会合同研修会を行い、「地域協育ネット」についての共通理解を図りました。

- ・「地域協育ネット」について、光市浅江地区の取組に学び、意見交換を実施。

## 成果と課題

これまで、各校ともにコミュニティ・スクールとしての活動は軌道に乗っていましたが、今年度「地域協育ネット」の視点から各活動を見直したことにより、地域全体の一体感が一層高まりました。児童生徒のアンケートを見ても自尊感情や自己有用感が強くなっています。また、「菊川応援団」については、メール配信によって学校の教育活動に参加する機会が増え、学校とのコミュニケーションを図ることができました。さらに、学校運営協議会の合同研修会は「地域協育ネット」を進めていく上で重要な位置付けとなっています。今後更に充実した内容にしていきたいと考えています。

今後の課題としては、各校独自に築いてきた地域とのつながりを生かしながら、「菊川応援団」を地域全体の応援団として機能させることが挙げられます。また、学校は、地域貢献のために、地域の行事等における取組を更に充実させていきたいと考えています。

## 今後の取組

今年度の成果と課題を踏まえ、各校が独自に築いてきた地域とのつながりと「菊川応援団」との調整を図っていききたいと考えています。そのためにも、学校運営協議会合同研修会を充実させ、相互の連携をより一層強めていききたいと思えます。また、現在、公民館主事が地域コーディネーターを務めていますが、今後は、地域の方からお願いしていききたいと思えます。

もともと地域の方から褒められることの多い子どもたちです。これからも地域からの支援をいただきながら、地域に貢献し、「この地域に育ってよかった」と言えるように「地域協育ネット」を推進していききたいと考えています。